

# 令和4年度 第2回和良地域協議会 会議要録

■日 時 令和4年6月21日（水） 19：30～21：30

■場 所 和良町民センター大会議室

## ■出席者

（和良地域協議会委員）

永井秋勝、蒲敏裕、吉田茂広、熊崎尚毅、長尾亨、池田肇、蒲智美、藤村美千代、大澤克幸、加藤真司、岩出真弥、中村充、池戸祐芳、佐野みゆき、粥川和雄（欠席：兼山百樹）

（事務局）岩尾所長、三輪課長、山本、蒲、兼山、酒井、加藤

## ■会議内容

1. 開 会 池田会長が開会とあいさつ

2. 全体協議

（1）前回の部会協議内容の報告と意見交換（フィードバック）

各部長が前回協議内容の発表をする。

## ●産業振興部会

（振興課）郡上森林マネジメント協議会の事業で沢地内の山の調査に入る予定。

（委員E）外材が入ってこないためヒノキとスギの値が上がっている。

（委員G）木材の値が上がってくると今後の林業に期待できる。

（委員E）伐採するにも作業員がいない。森林組合等業者に委託するには経費もかかる。

## ●文化教育部会

（委員B）コミュニティスクールとは地域の人と一緒に学校をつくっていくということ。地域の情報共有が大切である。

（委員I）2年に1回の子ども講座を今年は和良で開催する。ホテルやオオサンショウウオ等の資源があり、面白い企画ができると思う。

（委員L）子どもたちが川へ行かない。大人が行かないので無理もない。普通の自然、例えば田植えとかにも目を向けても良いのではないか。

## ●環境基盤インフラ部会

（振興課）濃飛横断自動車道の線形が示されてきたので、道と川を活かせるまちづくりをしたい。

（委員G）財産区の基金を有効に使う方法はないか。先代の築いてきた財産なので簡単にはいか

ないと思うが。

(委員 E) 難しいところもあるが有効活用できるよう進めたほうが良いと考えている。

(委員 G) 伐期の迫っている森林もあると思うので有効利用を考えたほうが良い。

#### ●保健医療福祉部会

(委員 A) 診療所の休日・夜間の診療が無くなり、住民が安心して住めなくなっている。

(委員 G) 休日・夜間の診療は、患者も少なくなっていると言われる。

(委員 L) 輸送の方が少ないことは良いのではないか。今の診療所の規模は必要なのか。

(委員 G) 診療所の存続は今後どうなるのか。最近、急激に変わってきている。

(委員 F) 有償運送は老健や診療所への利用者が多く、比較的近場利用の人が多く。現在は月に30件くらいの利用がある。運転手は11人の登録がある。いろんな情報が聞けるので良い。

(委員 G) 地区社協の話もこの場で聞かせていただきたい。話題提供してもらってはどうか。

(2) 話題提供「和良川漁協の現状について」 和良川漁協：大澤克幸組合長

和良鮎も有名になり、和良川も全国的に人気のある河川になってきている。組合員数は半減しており、H19をピークに7年間の低迷期があったが、その後少し回復している。

坪井商店で鮎の買い取りを行っていたが止められた為、和良鮎を守る会で買い取りを始めた。

(委員 G) R3の放流量が増えているのは何か理由はあるのか。

(組合長) R3はコロナの補助金もあり放流量を増やした。R3の放流量は2,300kgでR4は2,100kgであった。

(委員 G) 川鵜の被害はないか。

(組合長) 2羽ほどいたが有害駆除で対応していただいた。

(委員 G) 長良川は川が広く危険な部分もあるが和良川は安全に釣りができるのではないか。

(組合長) 和良川は安全で死亡事故は一度もない。和良川は魅力があると思う。毎年、(株)丸大産業さんから100万円の寄付をいただいている。山を守ることが川を守る事にもつながっているという事での寄付なので有効に活用したい。

(委員 G) 丸大産業の先代の意向であると聞いている。

(委員 E) 志摩市との交流で毎年和良鮎を食べる機会があるが、大変人気である。

(3) 明宝地域協議会との合同会議について (和良→明宝へ)

明宝地域との意見交換会を8月に実施する。

3. 部会協議 各部会に分かれ協議した。

4. 閉会 部会単位で閉会